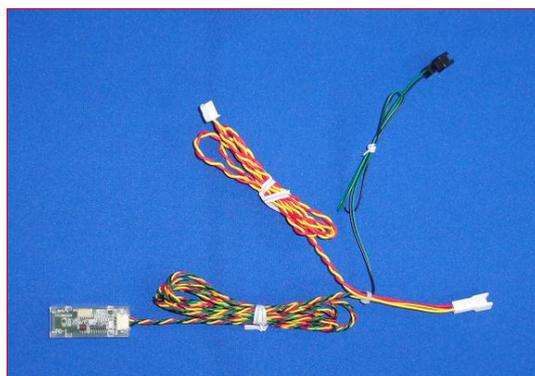


高感度磁石センサー ミルガウス



取扱説明書

■目次■

1. 各部品の名称
2. 全体接続
3. 島内配線方法
4. デイップSWの設定
5. 遊技台への取付方法
6. 検知範囲
7. テスト方法
8. 注意事項

■作成者■

有限会社 MKサポート
大阪府堺市堺区一条通 13-16 松利ビル 6F
TEL 072-226-2022 FAX 072-226-2024
<http://www.mksupport.jp>

1. 各部品の名称



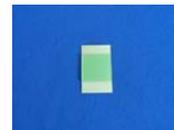
ミルガウス本体



渡りハーネス

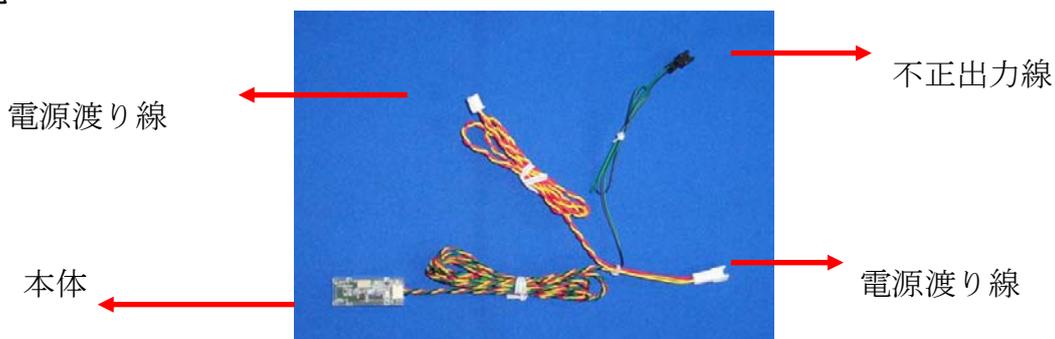


電源アダプター



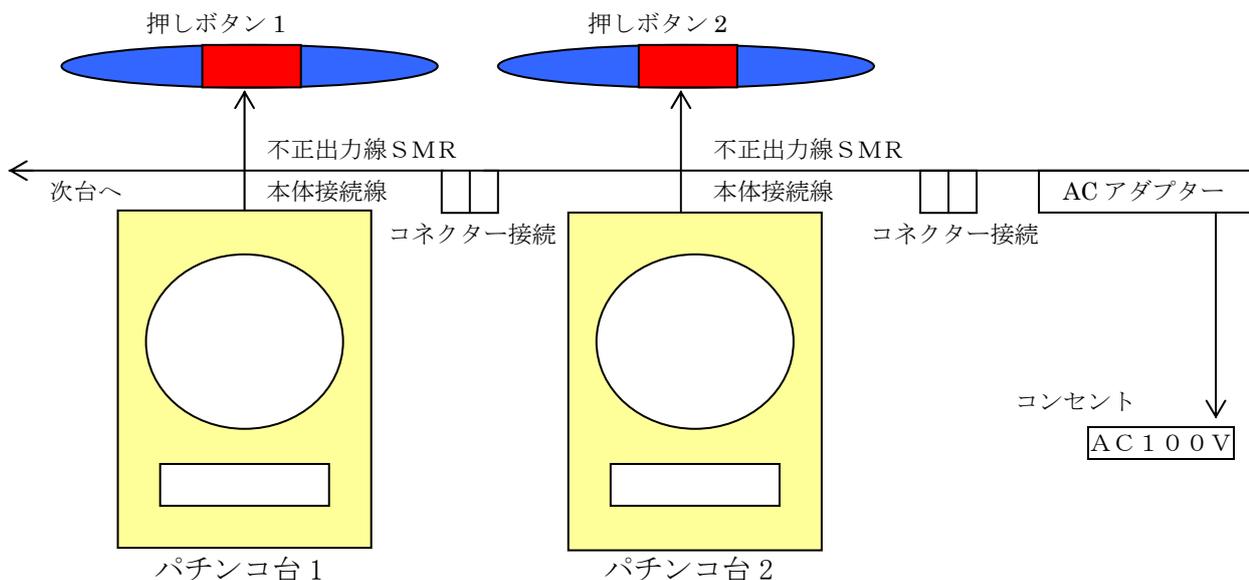
透明両面テープ
(本体固定用)

2. 全体接続



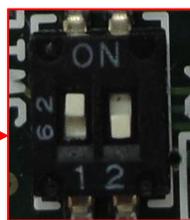
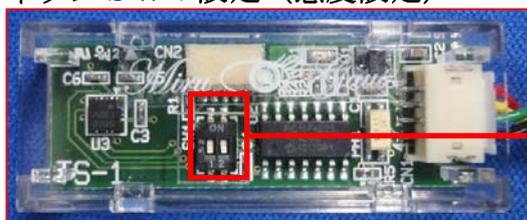
3. 島内配線方法

略図



- ① ACアダプターのコンセントを島端のAC100Vへ差し込みます。
- ② ACアダプターのコネクターと渡りハーネスの電源入力線を接続します。
- ③ 不正出力線をナンバーランプ等の表示器の不正入力線と接続します。
不正出力線のコネクターはSMRとなっております。
接続機器とあわない場合は別途変換ハーネスが必要です。
接続にあたって特に極性はありません。
- ④ 本体接続線とミルガウス本体を接続し、所定の位置へ両面テープで固定します。(後述)
- ⑤ 次台の渡りハーネス電源入力線と電源出力線を接続します。
- ⑥ ACアダプター1台につき25台迄接続可能です。

4. ディップSWの設定 (感度設定)



左側が1番
右側が2番

下向きがOFF
上向きがON

ミルガウス本体の上写真の位置にディップSWがあります。

強	感度4	1番 OFF	2番 OFF
↑	感度3	1番 ON	2番 OFF (出荷時の設定)
↓	感度2	1番 OFF	2番 ON
弱	感度1	1番 ON	2番 ON

精密ドライバーか小さ目のマイナスドライバー等でスライドさせて下さい。



5. 遊技台への取付方法

重要 取付に際しての注意



渡り配線が上方向になるように設置して下さい。

ミルガウス本体を直接、主基板ケースに貼り付けしないで下さい。

感度

通常の変換パチ機では感度は強で使用します。羽物などの遊技台では役物のソレノイド等の影響で過剰反応があれば弱で使用します。

取付位置について

例にない機種では基本的に下記要領で取り付けて下さい。

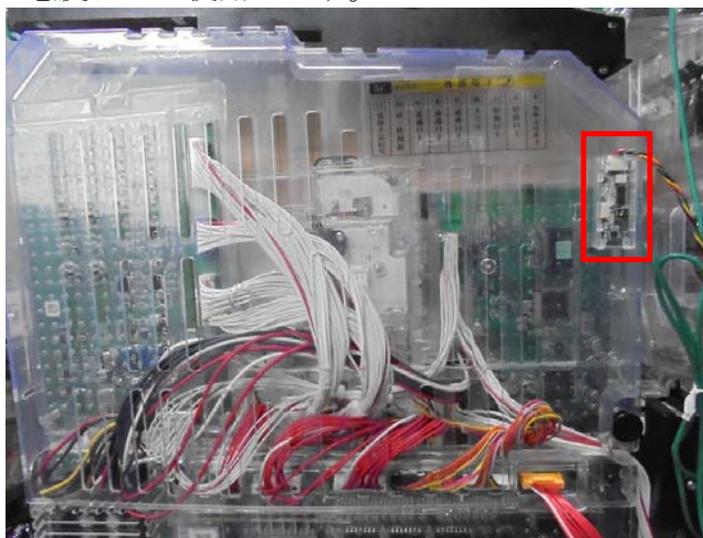


主基板の上か下に取り付けるかの選択は中央スタートチャッカーに近い側が通常は好ましいです。



例 1) CR 天龍∞シリーズ (マルホン)

感度は3で使用します。

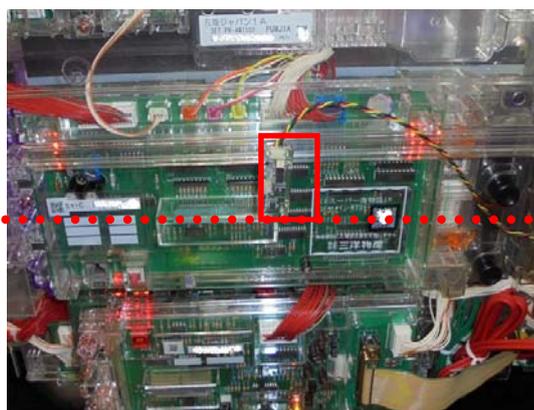


※この台はソレノイドの影響を受け易い為
上部右側へ取付けます。

例 2) まわるん大海3、IN JAPAN、BLACK等 (三洋) 感度は4で使用します。

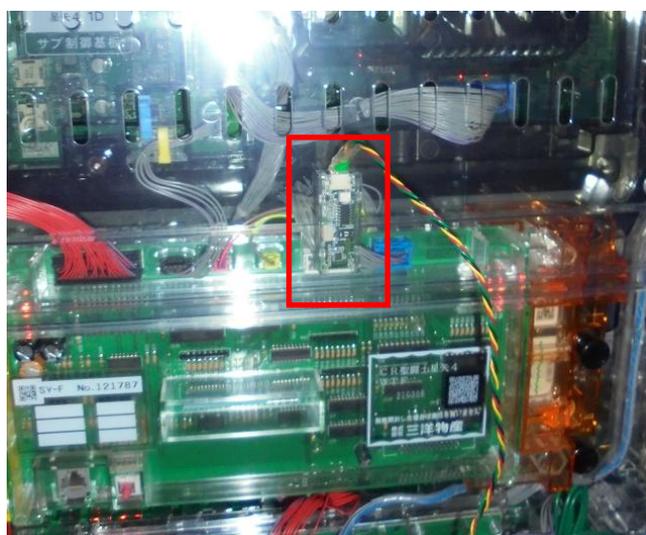


主基板の上側に取り付けます
(主基板ケースには貼りません)



例 3) CR 聖闘士星矢4 等 (三洋)

感度は3で使用します。



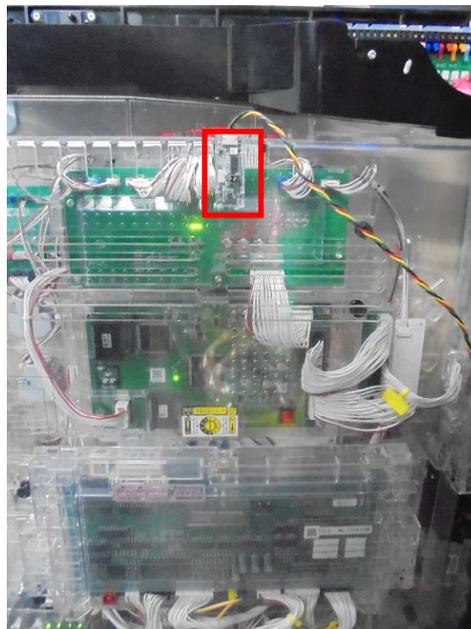
例 4) CR 天下一閃シリーズ

感度は**4**にて使用します



例 5) CR 悪代官シリーズ/CR 餃子の王将シリーズ

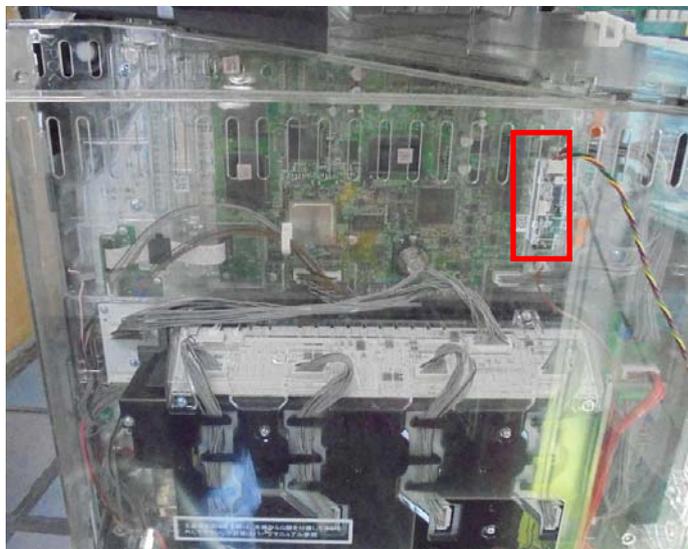
感度は**3**にて使用します



盤面上部の内蔵センサー非検知箇所を防御します。

例 6) CR 麻雀物語～ドラム大戦

感度は**3**にて使用します

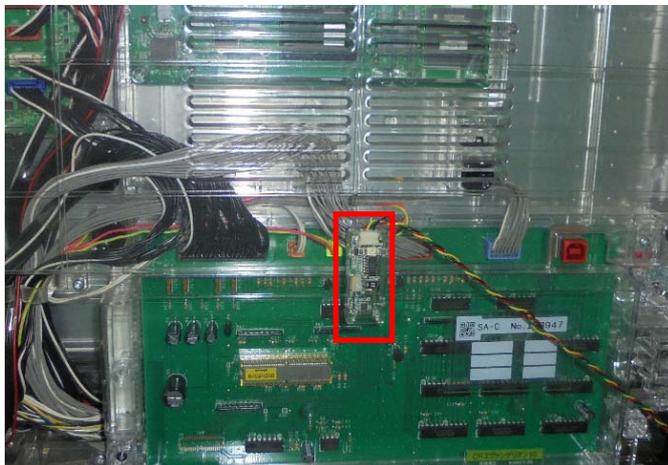


ソレノイドの影響を受けないよう
やや右上に取り付けます

例7) CRエヴァンゲリオンX等 (三共・ビスティ) 感度は4で使使します。



主基板の上側に取り付けます
(主基板ケースには貼りません)

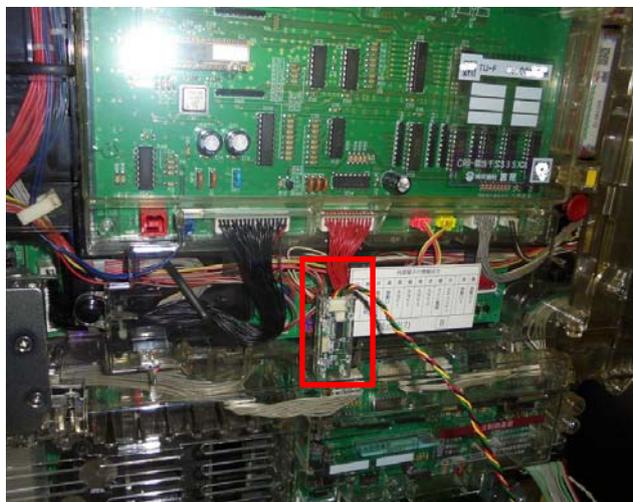


例8) CR一騎当千3等 (高尾) 感度は3で使使します。



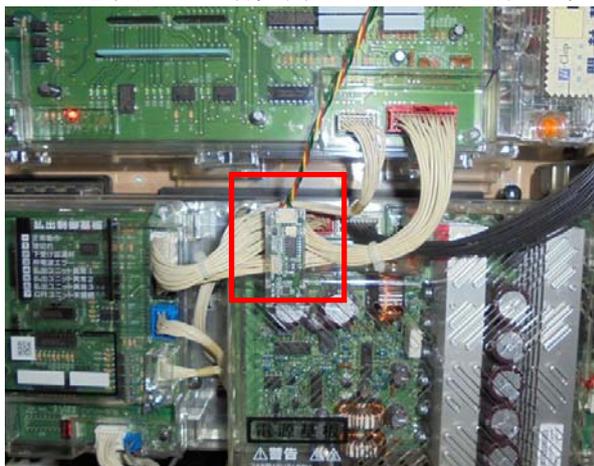
感度は3で使使します。

主基板より上部に付けると過剰反応します

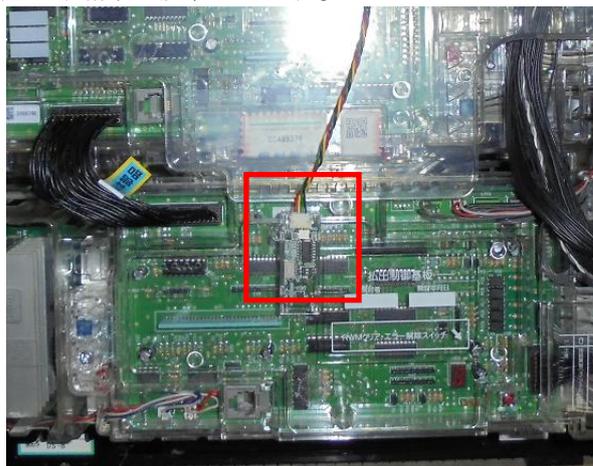


例9) 役物等のノイズが強い台で過剰反応が見受けられる場合

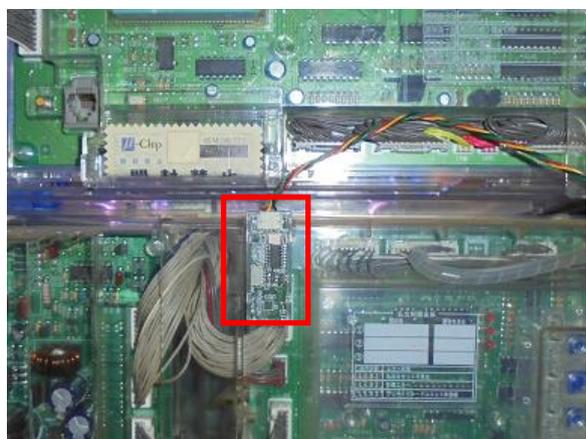
感度は3 (標準) で使用しますが、やや低い箇所に設置します。



西陣 花満開シリーズ等



大一 ハットリ君シリーズ等



藤商事



タイヨーエレクト

6. 検知範囲

取付例のように設置すると下図の網掛け線のようにスタートチャッカーを中心にワープルート侵入口や中央下のアウト穴等の玉を誘導できる磁力を検出します。



機種により検知範囲に若干違いがあります。

7. テスト方法

テストの前に ミルガウスの電源投入時は3分30秒経過後にテストを行なって下さい。遊技台の電源が入っていない場合、また遊技台の台枠扉が開いている状態では正しくテストは出来ません、遊技台の電源を投入し、台枠を閉めて約3分経過後にテストを試行して下さい。

テスト方法 玉拾い用の磁石等を盤面スタートチャッカー付近へ近接させて下さい。特殊な位置へ設置している場合はその周辺へ磁石を近接させて下さい。ナンバーランプ等の接続機器が不正表示されれば正常です。



玉拾い磁石等を用いてチェックします。

誤作動テスト 遊技台の電源投入時に発報する場合はソレノイド等の磁力発生源から徐々に遠ざけながらテストして下さい。営業中に過剰反応が見受けられる場合は取付位置を下へずらすか、感度を1段階下げて試行して下さい。

背面の遊技台との干渉

稀に背面の遊技台の扉を開けた場合に過剰反応する場合があります。その場合も感度を1段階下げて試行して下さい。

8. 注意事項

- ・遊技台や隣接しているサンド等の機器のアースは必ず接地して下さい
- ・定期的に動作チェックを行って下さい。
- ・**遊技台の扉を開ける時に発報する場合があります。**
- ・注意事項を確認しても過剰反応が頻発する場合は販売店へご相談下さい。
- ・全ての手口に対応している訳ではありません。
- ・今後の動向や手口の変貌により、バージョンアップ（有償）が必要な場合も有ります。
- ・当商品の性能に関しての保障は一切行っておりません。